

Q11 『朝日村が無医村とならないための取組』について

「積極的な取組が必要」と答えた方の理由

近くに医療機関があるだけでも、精神的な安心につながる。災害や利用者(高齢者)の交通手段確保の意味からも村内に必要と思います。

いざという時にないと困る。遠くの医者に行く手段のない人は困ってしまう。

車での移動も 近い方が安心だから

いつ車の運転ができなくなるか、不安ですのでよろしくお願いします。

医師が在村していれば安心感もて、又 高齢になり車の運転など出来なくなりバス、電車の交通がない状況なので

かかり付け医師がいる安心感、定期通院は近い所が一番ですから 無医村にはしないで下さい。

年寄り、孫(未満児)がいる為、近くで診療が出来る事を望みます。

車の運転が出来る人がいる家は、問題無いですが、老人だけの場合が困る。村のかかりつけ医がいた方が体調の事も分かってくれていて対応が早いから。

最近も、母の体調がおかしくなり、直ぐに大きな病院の手配もしてくれたから。

子どもは塩尻市の小児科にかかっているが、熱があったり体調が悪いのに遠くまで連れて行くことがかわいそうだと思う。家の近くに病院があれば、辛い思いをさせないし、何かあったときの事を考えると安心感がある。そのため、無医村とならないための取組みは必要だと思う。

役場にドクターヘリのエアポートができたのはとてもありがたく思っています。ですが、自分で動ける間はいいですが、近い将来、動けなくなった時に、すぐに行ける場所に医療機関があることは、大きな安心につながります。ぜひ、積極的な取組みをよろしくお願いします。

田舎住まいのデメリットの一つは緊急時の対応に時間がかかり手遅れになる事。一定レベルの救急体制を望みます。

普段のかかりつけ医の交通手段が充実できることも良いと思います。総合病院までのバスがあってもいいと思います。

診察・往診など、気軽に相談できる身近な診療所があると安心です。

高齢者が多いので、近くに医療機関は必要だと思います。

朝日村はお年寄りが多い。村にお医者さんがいないなんて不安すぎる

子どもを持つ世帯だって安心して暮らせない。予防接種すら村で受けられなくなるのか…

村をこれからもっと良い村に育てていくにもお医者さんは必要不可欠だと思う

村として村民が安心して暮らせる村を作っていくのはとても大事なことだと思う

安心して暮らせない。益々人口が減少する

緊急を要する場合、村内に病院があれば安心。駆け込める。

移住を考えている人にとって村内に病院があるなしは大きな決め手にもなると思う。

村に医療機関が1つあるだけで、村民の安心感が違うと思う。人口減を防ぐ手立てにもなるのでは。

無医村となる事は、転入者の選択肢から見たら若年層はもとより、都会からのシニア層からも住みにくい村だと、相当なマイナスポイントと見られる。過疎化を促進するだけでなく、今住んでいる住民も安泰では無いと思う。

若い世代の定住する条件の一つとして医療機関の有無が占める比重は大きいと思います。眼科や耳鼻科等の専門医は村外で受診するとしても、いつでも相談出来る家庭医の存在は大きいと思います。

Q11『朝日村が無医村とならないための取組』について

「積極的な取組が必要」と答えた方の理由

村内にかかりつけ医が欲しい。

村内に医師がいるということは村の人の顔が見えているということ。とかく、村人何人とかまとめて考えがちだが、一人ひとり別々の生活があり顔が違う。小さな行政、地元の医療にはそれができると思います。

災害のときも、「老人数名被災」ではなく、「田中さんと佐藤さんが被災」と考えて対応してほしい。また、地元には医師がいることは災害時に心強いです。牛伏寺断層地震が起こればこの一帯が壊滅的になるので近隣からの救援は望めません。しばらくは自力で対応するしかありません。効率化より質や気持ちを優先してほしいです。

無医村は年令を増す毎に心配です。

安心・安全

一つの医院しかないのもその後が心配。

予防も含めて、近くにお医者さんがいると安心。相談もしやすいから。

近くで安心できるから。

心の安心となるため

村民の安心感

緊急時には絶対必要

村内に診療所等があるというだけでも安心できる

安心して暮らせる

安心して暮らすための重要な要素のひとつ

年を取り、近くにあることで安心できる

確実に見てもらう

不安

身近に病院があれば安心感がある

必要大

緊急の時に村内に医療機器があると安心出来るから

近いので安心

いざというとき、近くにあると助かる

近くに医者がいると安心

日常生活を不安なく送るための重要な施設だと思います。積極的に誘致してほしい。

朝日村にはなんでも診てくれる地域に密着してる医院があれば安心

薬だけ欲しい場合や、ちょっとした相談をしたい時は近くに診療所があれば安心です

小さな村でも、高齢化が進みます。近くにあると安心である。以前あった（古見に）、志田医院の様に
出向でも無医村にならない様に積極的に取組んでほしい。

身近に主治医が居ることは安心につながります。大きな病院では、病状によっては身近な医者の紹介を必要とすることがあります。つまり、身近な医者にみてもらえ、ということです。

いざというときに、近場で対応してもらえないのは困る。

（これから先老後なども考えると）

緊急時の対応が他の地域よりも遅くなる懸念は否定出来ない気がします。今から対策をして早すぎる気はしない。

Q11『朝日村が無医村とならないための取組』について

「積極的な取組が必要」と答えた方の理由

緊急時やかかりつけである程度状況を分かってもらえる事は、病気をした時には大切だと思います。

自分で動ける場合は良いのですが、命に関わる状況の時に、近くに病院がないのは大変不安だからです。

現在医者や病院を選択できる基準が無く、口コミで調べて選択している状況。村内は専門医が少なく、評判も良いとは言えない状況があり、直ぐに診てもらえない不安がある。また薬局も無いため、近くにあると薬の相談も気軽にできる。

高齢者が通院するのに楽である。

高齢者の通院に便利

緊急時や往診対応してもらえることは、歳を取るたびに要望が強くなるため。

車の運転ができなくなった場合、村内にお医者があると、歩いても行けるため。

これから更に高齢化が進むと思うので、自身も高齢になった時に、村外での受診、通院は大変だと思う。

高齢者の多い朝日村には、医療施設が必要。そうでないならば、容易に村外の医療機関に通える交通システムが必要

医療施設が遠い場合、子育て世代も居住を敬遠するのでは？

現在の通院先は勤務先のあった松本市内の内科医で退職後も引き続き信頼して通院しているが、慣れや信頼感は捨てがたいが年齢が上がれば通院が難しくなると思う。

またその先生も同年齢なので先行き心配である。

この先自身も含め急速な高齢化の進む朝日村にあっては村内にある事の安心感や通院の利便性を考慮して村営の診療所は必要と思うが、地域医療に貢献したいという高い志を持った医師（難しい）確保と建物や設備への多額の投資及び診療所運営の継続補助も必要と思われ、財源確保も課題と考えます。

無医村になるのは、歳を重ねていくにつれ不安。

運転出来なくなったら在宅医療をしてくれる医師がいると有難い。

現在、唯一の三村医院がいずれ閉院される事がわかっているなら、今から取り組みを始めなければならないと思います。

災害時でも緊急時でも、医師がいる事は必須だと思うし、公共交通機関の改善も始まりましたが、移動が大変な人にとっても、村内に医療施設がある事は安心して生活する為に必要な事だと思います。

将来車の運転など通院が思うように行かなくなった時も村内に医療機関があれば安心だが、そうでない状況になったとしたら、交通の便利な所や病院の近くに移住を考えることになると思う。

若い世代の家族を呼び込むためにも、子供のための医療対策が整っていることが必須と思う。

総合病院では、ちょっと熱ばい、咳が少しなどの些細な事でも、待ち時間が長く半日位は掛かってしまう為、三村先生の様な村内の開業医は残して欲しい。

これから、ますます高齢化が進むと思われるなか、同居する若い人がいない場合、遠くの病院まで自力で病院へ行くのは辛いと思う。

自分で車の運転が出来なくなった時は、近くの医療機関にかかりたいと思う

運転が出来なくなった時、村外へ通院するのが大変だと思う。

突然たおれた際、即、行く事が出来る

運転が出来なくなったら困るから

車を使える今はいいが、高齢になり運転できなくなったとき、村内にあればたすかる

Q11 『朝日村が無医村とならないための取組』について

「積極的な取組が必要」と答えた方の理由

年を取り、車の運転ができなくなった時に頼れるから
年を取ると車で行けなくなる為
自ら通院出来るうちは良いが運転が出来なくなった場合が心配
1人暮らしで、村の交通機関では、時間的に対応出来ないと思います
近くに医者が必要である
朝日は不便の所だから
近くに医院がないと不便。
有事の時にこまる
遠くの病院などを受診しなくても、医療を受けられる
免許返納後（高齢になり）村交通機関で通院が出来るから
運転ができなくなった高齢者や、子どもには必要。病院への送迎、訪問
車の運転が困難になった場合、近くにお医者さんがいて欲しい
朝日村も高齢化が進み医療機関に行く足の確保が必要になると思います。
自分で車の運転が出来なくなった時 近所には不安だ。
病気になった時、遠くに行くのは、大変
いざという時遠い
今現在、自分の両親共に村内の医院に定期的にかかっています。
無医村になると、村外まで送迎しないといけないので、大変です。
今は車を自分で運転してどこの病院でも行くことができるが、今後、運転が出来なくなった時など近くに病院があると徒歩や公共交通機関で行き、早く受診することが出来て安心すると思う
自分自身は今はまだ自力で運転ができるので、どうにでもなりますが高齢になったときのことを考えると共に、現在ご高齢の皆さんのことを考えると村内にあるのは非常にありがたいと感じます。
私は車を運転できるので良いのですが、共働きで、夫が単身赴任、子どもが複数いるので、近くに複数の病院があればありがたいと思う機会が多いです。
これが交通手段のない方だと余計にそう感じると思います。
ウェブ診療も地域対象外なので、村内に病院があるとありがたいです。
子育て世帯や高齢者の受診の為には村内に医療機関があることが望ましい。
自主的に村内で開業してくれる医師が出てくるとは考えにくいので、行政の関与が必要かと思われる。
親が高齢となり近くに頼れるお医者様が必要。
予防接種等気軽に行ける、かかりつけ医が必要。
これから高齢者は更に増える。子どもは減っていると言っても、朝日村に魅力を感じて引っ越してきた方も多くいる。村民の安心のために取り組むべきだと思います。
分譲地の開拓や空き家の有効活用等で転入者を増やしていかなければいけない状況下で、村に医療機関がないというのは、それだけで転入の検討すらしてもらえない可能性がある。
村内にお医者さんがなければ子供、年寄りも余計こまる。内科、歯医者さんは必要です。
子供から高齢者が安心して暮らせる村であってほしいから
村民の健康を守る第一歩として不可欠
高齢化でお年寄りが多く、子供の急な病気などに直ぐに対応出来ると良いと思います。

Q11 『朝日村が無医村とならないための取組』について

「積極的な取組が必要」と答えた方の理由

村内医は子育て世代や高齢者世帯には必須で有り、新たな医療施設を設け維持するには村の支援がかかせない。

何かあった時に、身近に相談や対応が出来る医療機関は、とても重要だと思います。
これから高齢者が増えて行くことで、医療体制の充実は重要な課題だと思いますし、子供たちも安心して住める村づくりのために是非積極的に取り組んで欲しいです。

介護の仕事をしていて、子育て中ですが、子供も高齢者も安心できるお医者さんが必要だと思います。
村内で身近にいてくれることで、特に高齢者や子育て中の親も安心します。じぶんで村外の医者へ行くことが困難な人も大勢います。これからもっと増えていくと思います。各家庭に往診できたりする環境が高齢化が進んでいる今は必要かと思います。

今は子供も大きくなり、医療機関に行くことも少なくなりました。
子供が小さかった頃は喘息だった為、時間外の相談にも対応していただきとても助かりました。
高齢者と同居している方、子供が小さい方など家族構成によっては村にお医者様がいらっしゃることはとても安心だと思います。
いずれ私ももっと高齢者になることを考えると、とても重要だと感じます。

一人暮らし高齢者にとって無医村にならないよう検討お願いします

高齢者が自宅で安心して診てもらえるために必要

高齢化してゆくし病はつきものです

若い内は余り考えなかったが年を取ってわかる村内医療の大切さ 無医村になってはいけない

今後ますます高齢化が進み身近に医療機関がないと困るから

高齢者はとっても不便

高齢になって動きがとれなくなった時、村内にないと困る。

今後も高齢化による往診 看取りの重要性が増すため。

高齢者にはとても必要

高齢者は医療にかかる確率が高い。

高齢者が増えてくるから。

高齢者になった時

年寄りのかかりつけ医が近くに必要

これからますます村の高齢化が進んでいくと思われる為

朝日村は益々高齢化が進行します。また一人暮らし世帯も増加します。村内に医療機関は必要です。

一人暮らしの高齢者比率が今後も高くなる事が予測されるのであればそれなりの取り組みが必要。要介護者の対応については広域でも良いと思う。

行政が動かないとだめだと思う

困難な問題なので早いうちから始めた方が良くと思います

安心と安全の確保が村政の基本

自主的な開業が期待できず、村が積極的に関与すべき。

村民福祉向上！

診療所と医師の確保ができていない

村の取組は、必須です。無医村になってしまう可能性有り。

Q11『朝日村が無医村とならないための取組』について

「積極的な取組が必要」と答えた方の理由

無医村には絶対なってはいけないと思います

無医村になる様な村では村政など考えられない。

村の医師も年齢的な心配もあるので 早い取組が必要

若い医師が開業できる環境づくりには行政が積極的に関わる必要あり

公約は守る必要がある。(村民を馬鹿にするな!!)

(村の取組は)絶対必要だと思います。村が取組まなかったらと思うととても不安になります

設備・人的・収入等々課題が多く 公的な取組が必須と思う

将来的に無医村になる事が、わかっているならば 今から早速取組むべきと思います。

閉院するならば 今迄の医療器械が整っており 非常勤医師を頼んで頂きたい。

無医村が魅力の村ってあり？

村しかできないと思う。

今井にある医院では、その場所を使って(元の医院)新しい先生が開業している。そんな事も研究して、村営ではなく、開業医が来てほしい。

村内が無医村とならない為の取組も必要かと思います。村内の検診で健康づくりに貢献している事評価します。

個人の声から村内にクリニックをつくる事は難しいと思います。村内の意見を集め、役場の皆さんが関わってくださって形になっていくように思います。どうぞよろしくお願いいたします。

朝日村内に、診療所等の医療機関は必要だと思います。その為には、村から施設の提供、各種補助を行ない、医療機関を村主導で設置運営していく方向で検討していただきたい!

過疎化が進んでしまう。若い世代が安心して子育て出来る環境が好ましい

村内人口減少に歯止めをかけるには重要 子育てしたくなる村をアピールするには 小児科、内科医は不可欠であると思う

無医村かどうかにより、子育て環境や移住促進にも影響があると感じます。

企業誘致を進め、各企業従業員が共同利用できる診療所を設立して、村民も利用できる仕組みを構築する。

(企業誘致をする事で、雇用を産み出し、子育て世代の移住を進め、村の人口増加にも繋がっていくのではないのでしょうか。)

村の医療のみで考えるのではなく、総合的に本気で積極的に考えて頂きたいです。

宜しくお願い致します。

村内に診療所がないと、村から人が出て行く

人口減少対策にも絶対必要

将来、人口増に影響するのではないか

公的な医療機関があると村外からの移住者を呼び込む材料になると思います。

すでに限界集落になり掛けていると思うから。

現在かかっているので継続して受診したい。また診療所のない村では今後の人口増対策に支障をきたす。

人口減少対策としても、無医村となることは回避しなければならず、医療機関の維持、誘致は、行政サービスとも考えられるため。

Q11『朝日村が無医村とならないための取組』について

「積極的な取組が必要」と答えた方の理由

結果的に無医村になってしまっても、そうならない為の取り組みをするかしないかでは村民の村に対するイメージが変わってくる。望んだ結果が出れば理想ではあるが、望んだ結果にならない場合は、その過程が問われてくると思う。例えば、これから先も朝日村で暮らしたいか、朝日村への愛着など。

朝日村が『無医村』になると、

→居住する安心感や魅力が著しく低下。

→転入者がさらに減少し、若い世代の転出が加速。

→高齢者世帯の急増と、人口激減に歯止めがかからず、

→小学校廃校、保育園廃園

そんな未来が訪れる事は容易に想像できます。

Q9, Q11のようなのんびりした質問をしている現状ではないと思います。

子育て世帯を誘致するなら病院は必要です。

子供が風邪や予防接種を近くで見てもらえるのは安心だから。

医療体制が整うことで、医療と介護の連携、災害時の対応など朝日村に特化した対応が可能となる為

大きな病院やクリニックは予約しても、何時間も待たされて患者さんはそれだけで疲れてしまいます

医療機関へは半日掛かり、1日掛かりで、家族も大変です

村内にあれば緊急時や最期を看取って頂くことが出来るのでありがたいとおもいます

是非無くさない様宜しくお願いします

健康村であるために

村民の健康の為

医療機関、住民もふくめ村内・外での総合的な連携が必要だと思うから

無医村になるかどうかは重要なのではなく、村民が比較的短時間で通えるならば、近隣の市村に頼っても良いと思う。

その際の移動手段の整備や朝日村民として区別されることがないような環境作りは必要と考える。

塩尻市や山形村と共有して行っては？

行政主導で近隣の市町村との連携や医療機関の継続をしていただきたいと思います

村内に病院が少ないのはしょうがないが、コロナやインフルエンザの検査ができないのは困る。

小さい子供がいて塩尻市や松本市まで出向いて、待ち時間もあって検査をするのが大変。

改善が見込めないのなら、せめて村外の医療機関と連携をとってもらい、すぐに他の医療機関を受診できるようにしてもらいたい。

役場で積極的な取組ができますか？それだけです。

みむら歯科が、来年の3月に閉院になってしまいます。とても丁寧でしっかり説明をして頂き良い先生なのに残念です。来年何処の歯科に行ったらいいか分かりません。

みむら歯科は設備も整っています。他の歯科医師が来てくれれば良いのですが。宜しくお願いします。

必要でない、という人が一定数いる以上は丁寧な理解を得る努力は大切だと思うから。

みんな通ってきた道です。よろしく申し上げます

Q11 『朝日村が無医村とならないための取組』について

「一定程度の取組が必要」と答えた方の理由

交通の便のよい土地の確保、患者の多い少ないにかかわらず診療を維持するには一定の行政のかかわりは必要と思います。

無医村よりは、ある方がいいとは思いますが。

将来の為に

村内に2軒位の内科医院の常駐の確保。

カベは高いだろうが、行政力は見れる

民間では成り立たない。(人口少ない為)

三村先生もいつまでも現役ではいられない その先のことを早目に考えはじめるべき

何も取り組まなければ確実に無医村になる。誘致?等だけでも良いので何らかの取り組みをすべき。

村内に医療機関が無い場合、通院手段のコストが大きくなる。 緊急時の対応が遅れる。

国に対して過疎地域の医療機関への診療報酬を都市部の倍に引き上げるよう要請すべき。

大病院のサテライトやオンライン診療の拠点等は検討しても良いと思います。

現在は無医村ではないが、将来の事を考えて少しずつ取組んでいってほしいと思います。

現状 村内の病院にかかっていない為、不便を感じない。但し、無医村で困る方は一定数いると思う為。

そんなに遠くないところにあれば若い世代は良いかとは思いますが、遠くに通えない人のために、曜日限定でも村内にあれば助かる方もいるのかと思います。

医者の確保が厳しく、あれば安心の医療提供は困難な状況と察します。近隣の医療機関や医師会への働きかけが必要なのはもちろん、診療所など診察の拠点を置かずに自宅やデイサービス時に訪問診療をするなど、機能特化を検討されてもよいのではないのでしょうか。

朝日村出身者を探すとか、給料の上乗せとか、お金がなければ朝日村で生産される農産物とか製品など自己負担しなくて済むとか、リノベしたお洒落な古民家の住宅を貸与するとか、他市町村では無いような我が村ならではのできることをやってみる。

常駐してくれる医師が見つかればよいがそう簡単ではない。

常駐が無理であればどういう体制がよいのか真剣に検討する必要がある

30年くらい前に朝日に引越した時、村内に医院がいくつかあったが、通院していたのにも関わらず2年続けて脱水症状になり入院した。その後から、松本の病院に行くようにした。必要だとは思いますが、人口も減るので、協立病院と提携するなど、若手育成しながら、お互いに良い事があるように考えるのは、どうか

今は移動手段として自家用車があるが今後高齢になって車を運転出来なくなった場合近くに信頼出来る医療機関があると安心出来る。

免許を自主返納したときに必要になると思う。

松本の病院に通院していますが、車の免許証返還した時、行きたい時に行けない?とても不安があります。

松本広域で見れば医療機関は多数あるので無医村でも余り心配していないが、交通弱者の皆さんなどへの配慮は必要であると思う

Q11 『朝日村が無医村とならないための取組』について

「一定程度の取組が必要」と答えた方の理由

高齢になると移動が大変になる。

例えば入院して退院できたとしてお薬をもらう場合も近い方がありがたい。

免許返納しても家族に迷惑かけずに生活したい

車がない方や運転が出来ない時など、村内に医療機関がある事だけで、最低限の安心感がある事が、行政として重要だと思います。

クルマで行くことを前提にすれば、必ずしも村内にある必要は当面感じない。自分の歳を考えると15～20年後にはないと困るかも知れないが、今設置されてもそれまで維持し続けるのは困難ではないかと思う

近隣の医院へくるりん号などで、行けるようにすることも大切だと思います。

無理に村に作らなくても 近くに移動手段を整備してくれれば良い。

近隣の開院医師との連携が必要かと思います。

その医療機関への直通の公共交通機関も必要です。

歯医者、村にあった方が良くと思う。通う回数が多いので 村外だと、交通費もたくさんかかるので。

緊急自動車、ドクターヘリ等の患者の移動手段の充実が必要

基本的に村内の医療施設にかかっていないが、子供が急に熱を出したりする場合にすぐ近くに医師がいてくれると心強いと思うから。

医師の存在と言う一つの安心感を確保してほしいが 長期にわたってお願いできなければどうでも呼三村医院さんがあるのは大きな安心になっています。

1ターンなどで若い家族が増えているようであれば、今のように村内に病院があってくれたいへん助かると思います。

住人が減っているようであれば、現実的に病院がなくなってもしょうがないかなとは思いますが。

具合が悪い場合、難しい手続きや待たされる事もなく直ぐに診て頂けるお医者様がいらっしゃる安心感と、応急処置で病気の早期発見や重症化の軽減になるのではないかと思います。

村内にある事で安心できる方がいると思うので

蜂や止血などの緊急対応はあって欲しい。

今後の急な対応で困ることがなくなるかも……

ただ、クリニックや医療所は専門知識の人が必要なのでスタッフが集まるか心配。

高齢者の村になるために今後必要だと思う

高齢者のみの世帯の方は、近くに医院があると便利かと思います。

年を重ねると遠出ができないから 一ヶ所位はあった方がよいと思います

高齢社会で村内で医療機関が無いのは不安

小児外来に対する取組みも必要

むずかしいとは思いますが、自力で開業してくれる医師をさがすことが大切。

多くの方々からの意見が必要と思われる。

Q11 『朝日村が無医村とならないための取組』について

「一定程度の取組が必要」と答えた方の理由

積極的な取り組みという意味が急ぐという意味なら、勇み足でいいものが構築できない。積極的な取り組みは超多角的に考察分析検討して高度な判断が必要だと思うので、村長の任期中にやりたい気持ちはわかるが、急いで医療対策を構築するのは避けて欲しい。無医村は避けた方がいいが、作った後に、施設規模が中途半端で医師の確保が出来なくなる例があるので慎重にやってもらいたいです。

近所になれば、必要性が感じられない。

在宅医療を支えてほしい

子供の検診をしてほしい

Q11『朝日村が無医村とならないための取組』について

「取組は必要ではない」と答えた方の理由

1. 信頼できる医師が来るか？ 2. 安心できる医療設備ができるか？

村にあっても行く方が少ないので、対応が良く無い

たとえ医者がいても、頼りになり、安心できる医者でなければ、どんなに村が頑張っても無医村にならないようにしても、受診はしないから。

コロナ禍で感じた事ですが、子供の発熱等での受診が多い為、受診したところですぐに色々な検査（コロナ、インフル、溶連菌等）をして結果が出るような設備がないなら、行っても無駄だと思い塩尻まで受診をしに行きます。

そういった検査設備があるような、子供が怖がらない明るいイメージの医療機関が新しくできたらとても嬉しいです。

無医村になるのは営業的に成り立たないからですよ 朝日村で開院して営業が成り立つという事ならば既にどなたかが開院されていると思います 今そこに税金等を投入し建物また医療器具などを揃えまたそれを税金等を投入し維持していくのならば 近隣の市村にある医院に通える方法を模索したほうが良いと思います また その方がその医院でも新たな医療器具の導入の検討も出来るのではないのでしょうか？

他の市町村にあれば不要。そこに税金を使う必要はない。

近隣にある

近くの村に医者がいてどうしても村内にこだわる事はない

村外の医療機関が充実しており、距離的にも近くにあり不便を感じない。

朝日村に引越して来たので 今迄塩尻に住んでいたので

村にある必要はない

近隣の市町村の病院は診療設備、診療科目などが整っていたり、連携もできていたりするので、朝日村にあえて必要ないと思います。

朝日村は立地的に近隣へのアクセスもよく10分程度の圏内に既存と同規模の診療機関がある。

Q11『朝日村が無医村とならないための取組』について

「わからない」と答えた方の理由

村内に医師を確保する事と、近隣の医院へ行く「足」をきちんと使いやすくする事、どちらが長い目で見て良いのでしょうか？

運転が出来る今を基準に回答したが、国道までそう遠くない朝日村の為、行くための手段があれば良い

塩尻、松本が近いので最寄り医療機関まで片道2時間等といった状況ではない、と思われま。村内かどうか、よりは医療にかかるまでの時間で考えるのが合理的と思います

今のところ塩尻や松本に行くことができるが、将来車の運転が出来なくなった時のことを考えると不安に感じる。ただ、いま村内の診療所には行っていないので自分のかってな言い分ですが。

救急対応が、できる村の対応

どのレベルの医療機関にもよる 休日対応やちょっとしたことでも対応可能になるのは大変かと思う村にあるメリットが欲しいです

五類移行以前のコロナ予防接種のような居住地域ごとの対応があった場合に、近隣で受け入れて頂ける対応になるのかなど詳細が分から無いため。

長い間朝日村に住んでいますが歯科以外で村内の医者にかかった事はありません。自分で信用できる医師にかかりたいので、ただ医院があればそれで良いという訳でもないような気がします。

全国事例など情報があればありがたい

”ある方がよい”とは思いますが、どういうふうに取り組んで行けば良いか④わからないけれど”村医”は必要だと思う

不便となるのは、高齢者が大半と思ういます。住居地によると思われる。健診や接種等は、近くにあれば助かると感じます。しかしながら、自分は、住居地が山形村との境なので、わざわざ朝日村の奥まで行かず、近くの山形村の診療所等へ行くので必要性の優先順位は村外の次に村内となってしまいます。

無医村, 有医村それぞれのメリット・デメリットが把握できていないため。村としてどこまで関与すべきか何とも言えない。無医村を避けるための行動にも、それ相応のデメリットは存在すると思う。

Q11『朝日村が無医村とならないための取組』について

「無回答」であった方の自由記載

無医村ならば遠くまで出掛けなくてはならない

早急に取組む必要無（近い内に無医村になるなら 積極的な取組必要） しっかり検討してもらいたい。

必要でないと思っても、高齢者がちょっと体調の不安があった場合に相談しやすい診療所があった方がそもそも村はどう思っているのですか？

村民の生命と財産を守り維持し日常生活を送る為のインフラの一部とみれば医師と医療施設はあるに越した事はないのでは？

設問が余りに稚拙で広範囲に混乱をもたらすとは考えないのでしょうか？